



## アーカイブについて

---



## 文化関係資料のアーカイブ①

---

### ○国立国会図書館

頒布を目的として発行されたすべての出版物(図書、雑誌・新聞、CD、DVD、ビデオ、レコード、楽譜、地図等)を納本制度の対象として保存。(国立国会図書館法第24条)

### ○国立公文書館

日本政府の各官庁から移管された公文書を保有・公開し、歴史資料として重要な公文書等を保存。

### ○東京国立近代美術館フィルムセンター

我が国の映画フィルム及びスチル写真・ポスター・脚本・書籍などの映画関連資料を所蔵。

### ○国立新美術館

日本で刊行された展覧会カタログのコレクションや、海外で刊行された日本美術の展覧会カタログのコレクションを所蔵。

## 文化関係資料のアーカイブ②

### 国立美術館の図書資料

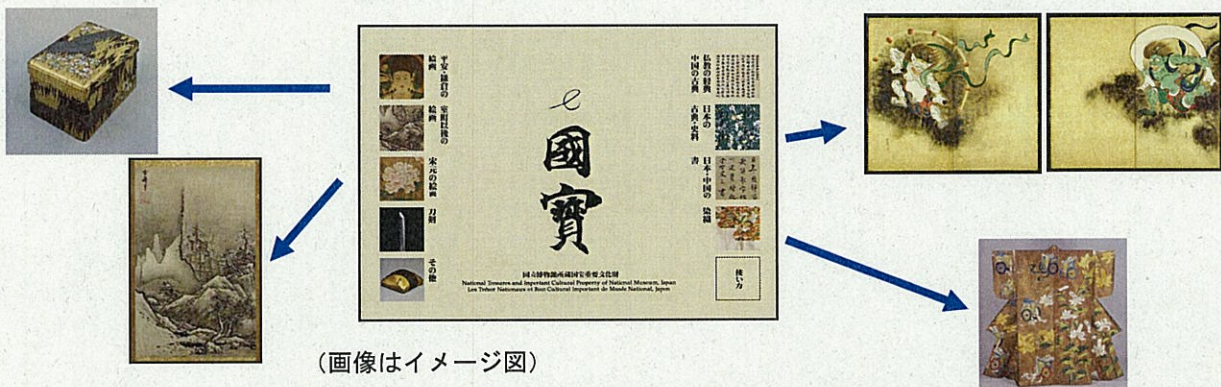
(平成20年度末)

館名		資料数	種別
東京国立近代美術館	本館	105,553件	【美術・工芸資料】 展覧会カタログ(国内・海外)、図書(和・洋)、雑誌(和・洋) ほか
	工芸館	17,448件	
	フィルムセンター	28,929件	【映画関係資料】 図書(和・洋)、シナリオ、ポスター ほか
京都国立近代美術館		17,280件	【美術資料】 展覧会カタログ(国内・海外)、図書(和・洋)、雑誌(和・洋) ほか
国立西洋美術館		42,658件	
国立国際美術館		32,593件	
国立新美術館		135,435件	

## 文化関係資料のアーカイブ③

国立文化財機構：「e 國寶」 <http://www.emuseum.jp/>

(独) 国立文化財機構(国立博物館)が所蔵する貴重な国宝・重要文化財について、高精細なデジタル情報に記録し、アーカイブとして世界に発信する事業。



### 主な特徴

- ① 国立博物館が過去100年以上にわたり収集・保管した国宝・重要文化財をデジタル化処理している。
- ② 高精細なデジタル・データによる処理を行っているため、従来以上にきめ細やかな画像をインターネット上でも見ることができる。
- ③ 中・韓・英・仏4ヶ国語による解説がついている。

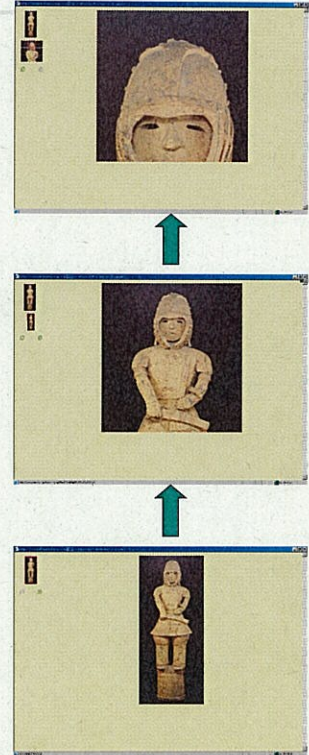
## 文化関係資料のアーカイブ④

国立文化財機構：「e 國寶」 <http://www.emuseum.jp/>

詳細なデジタル画像  
による細部の再現



数カ国語による解説



## 文化遺産オンライン①

日本全国の文化遺産や美術館・博物館に関する情報を積極的に公開することを目的としたポータルサイト

<http://bunka.nii.ac.jp/Index.do>



## 文化遺産オンライン②



文化財に関する情報



博物館・美術館に関する情報

## 脚本のアーカイブ

- テレビ番組の脚本は、1953年から2003年までに200万冊以上作成され、ラジオの放送番組脚本を含めれば500万冊以上になると言われているが、その多くが散逸し、現存している資料は少ない。

○(社)日本放送作家協会(日本脚本アーカイブズ)

テレビ・ラジオの脚本・台本約4万冊を所蔵。

○NHK放送博物館

NHK番組の演出台本約1万冊を所蔵。

○放送ライブラリー(放送番組センター)

放送番組台本約1万冊を所蔵。

○東京国立近代美術館フィルムセンター

映画シナリオ等約3万冊を所蔵。

## 記録映画のアーカイブ

- 制作会社や現像所、企業等が保有する記録映画フィルムは、あわせて15万本以上あると思われるが、経営困難や倒産、解散等によりその多くが散逸の危機にある。  
(オーファンフィルム(Orphan=孤児の意)が5万本?)
- 一般社団法人記録映画保存センター(2009年1月設立)
  - ・ 東京大学情報学環、東京藝術大学映像研究科との連携
  - ・ 東京国立近代美術館フィルムセンターと連携した保存支援
  - ・ 全国の現像所、制作会社、映画監督との連携
  - ・ データベースの構築
  - ・ 著作者不明作品の権利処理代行 等

## 建築のアーカイブ

- 日本建築学会建築博物館  
伊東忠太関係資料、曾禰・中條建築設計事務所設計資料、山田守設計資料、清家清設計資料、宮脇檀設計資料等を保存。
- 東京藝術大学  
吉村順三設計資料
- 京都工芸繊維大学美術工芸資料館  
村野藤吾建築図面コレクション
- 国立国会図書館  
岡田信一郎建築図面コレクション
- 建築空間デジタルアーカイブズ(DAAS)  
2006年に榎文彦氏を中心に設立したプロジェクト。
- JIA・KIT建築アーカイヴス  
2007年に金沢工業大学と日本建築家協会とで協働設立。